

都民生活に関する世論調査〈概要〉

令和4年1月

調査実施の概要

1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や、東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東京
- (4) 都政への要望

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本〔令和元年までは3,000標本〕
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
〔令和元年までは個別訪問面接聴取法〕
- (5) 調査期間：令和3年9月10日～10月3日
- (6) 調査実施機関：株式会社エントリーサポート

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）：1,849標本（46.2%）〔うち郵送1,287標本、インターネット562標本〕
- (2) 未完了標本数（率）：2,151標本（53.8%）

東京都生活文化局

調査結果の概要

※nは質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。

※個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある。

※M. A. はいくつでも選択、5M. A. は5つ選択、3M. A. は3つ選択

※M. T. は回答の合計をnで割った比率

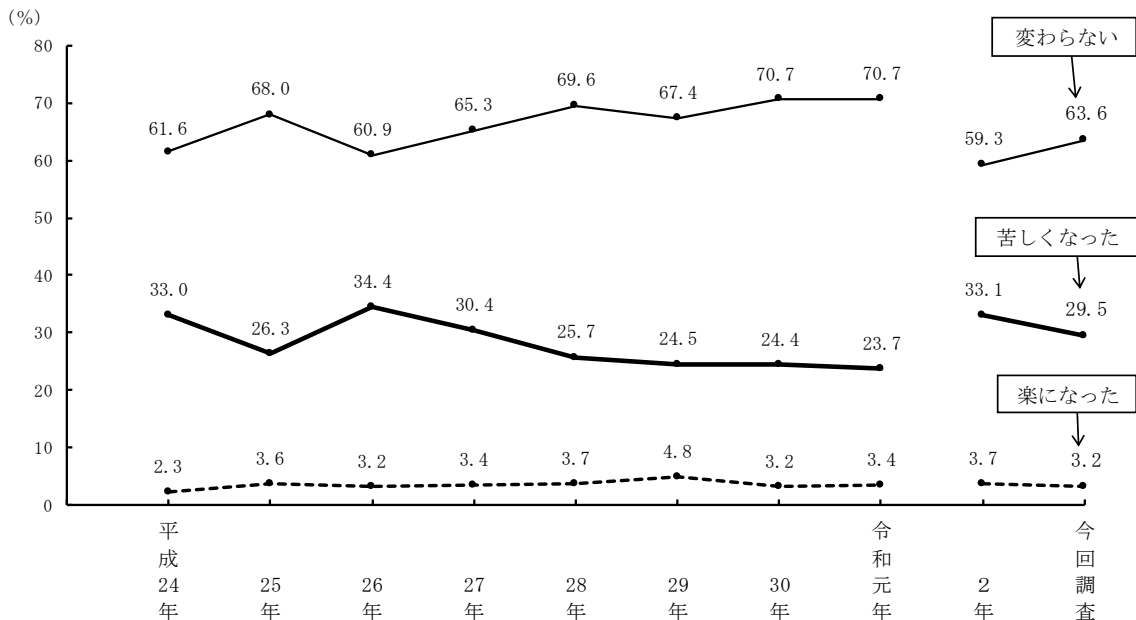
※令和元年までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年から郵送法（インターネット回答併用）で実施したため、元年以前と単純に比較することはできないので留意が必要

1 暮らし

(1) 暮らしむきの変化：暮らしは、昨年のごとと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いた。

(本文P3～P8)

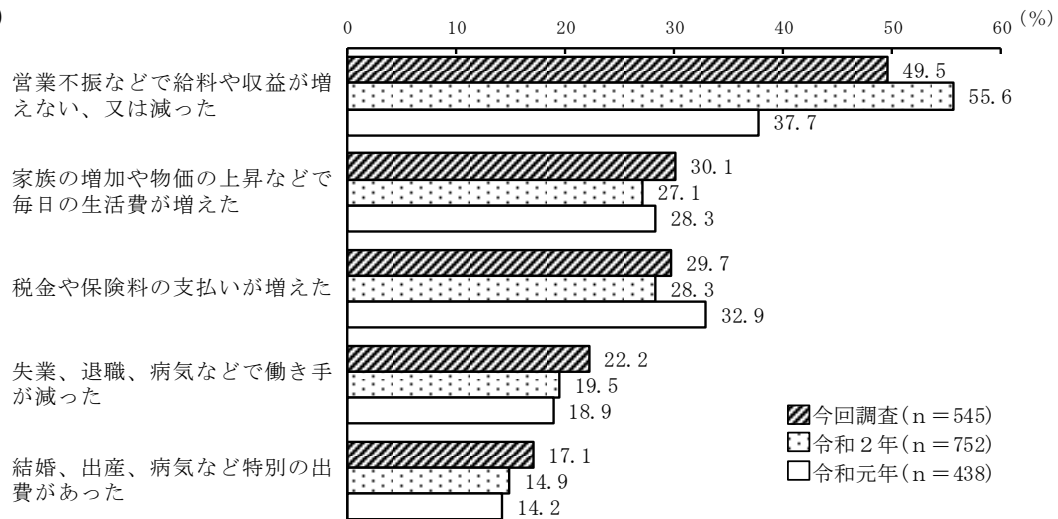
- ・「苦しくなった」は30%（昨年より4ポイント減少）
- ・「変わらない」は64%（昨年より4ポイント増加）



[暮らしむきが苦しくなった理由]：「苦しくなった」と答えた人（545人）に、その理由を聞いた。

(M. A.) (上位5位)

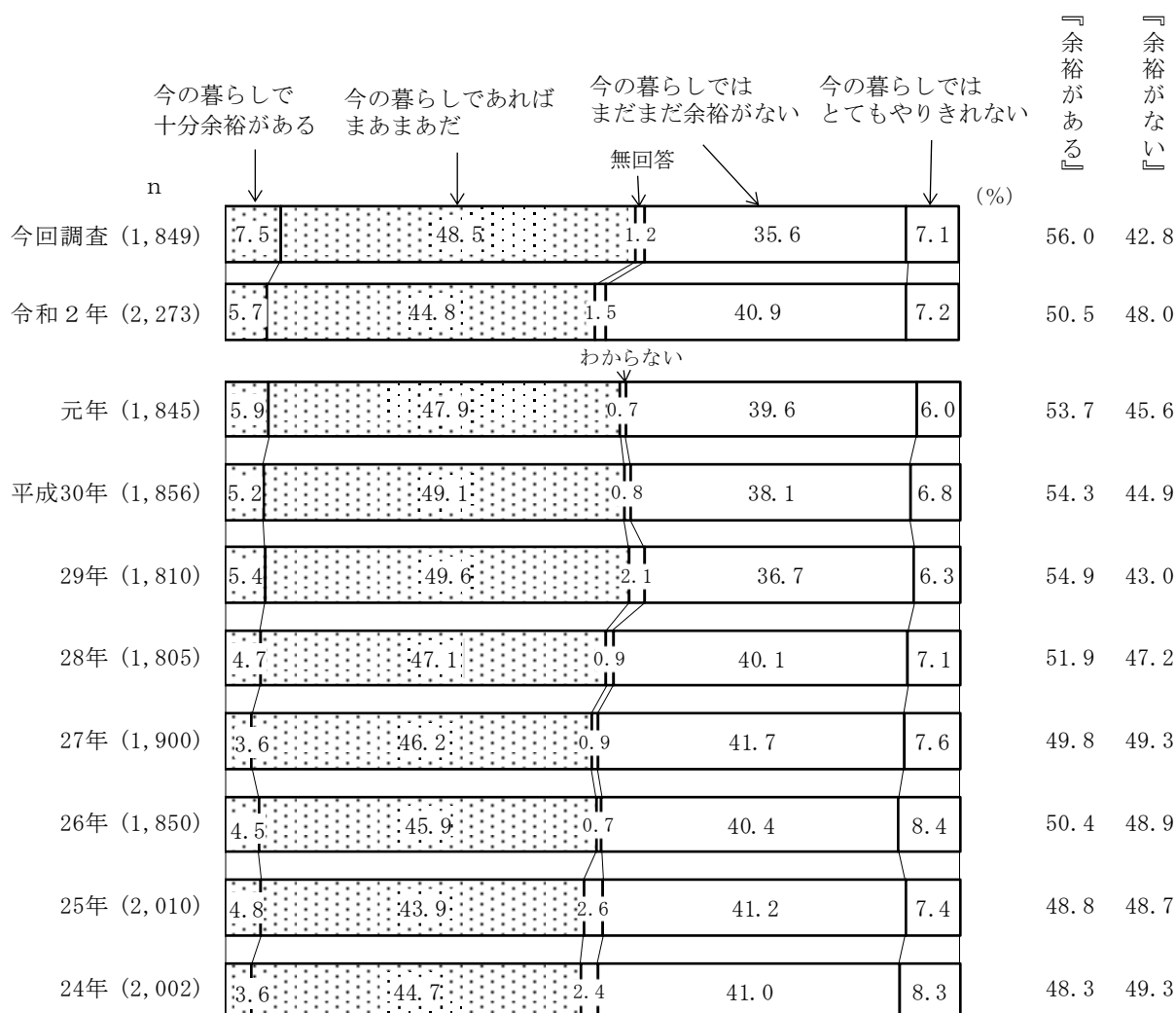
- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」が50%でトップ（昨年より6ポイント減少）



(2) 暮らしの余裕：暮らしの余裕について聞いた。

(本文P9～P13)

- ・『余裕がある』は56%（昨年より6ポイント増加）
- ・『余裕がない』は43%（昨年より5ポイント減少）

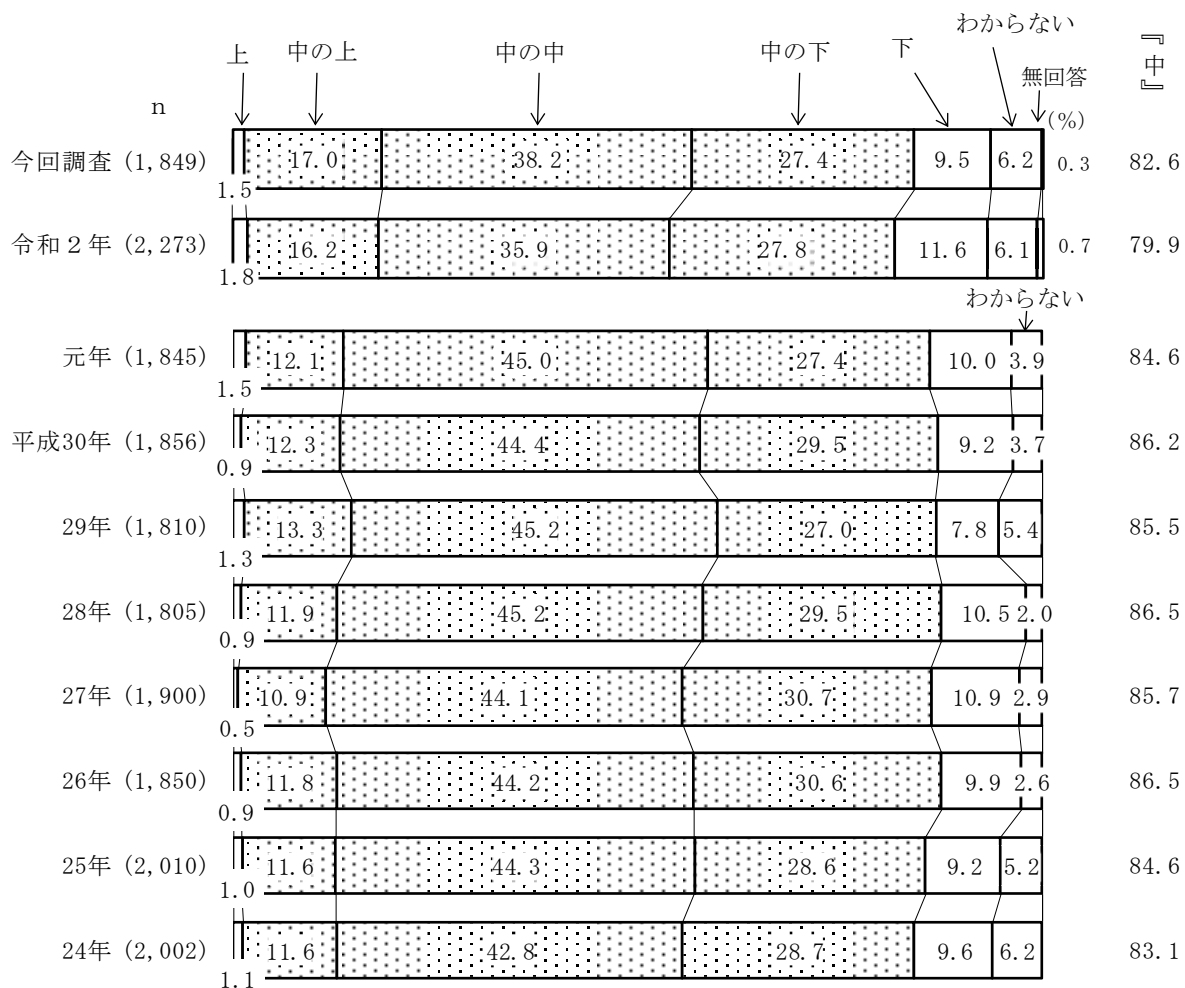


(注) 『余裕がある』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
 『余裕がない』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(3) 生活程度：5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いた。

(本文P14～P17)

- ・『中』は83% (昨年より3ポイント増加)
- ・「下」は10%



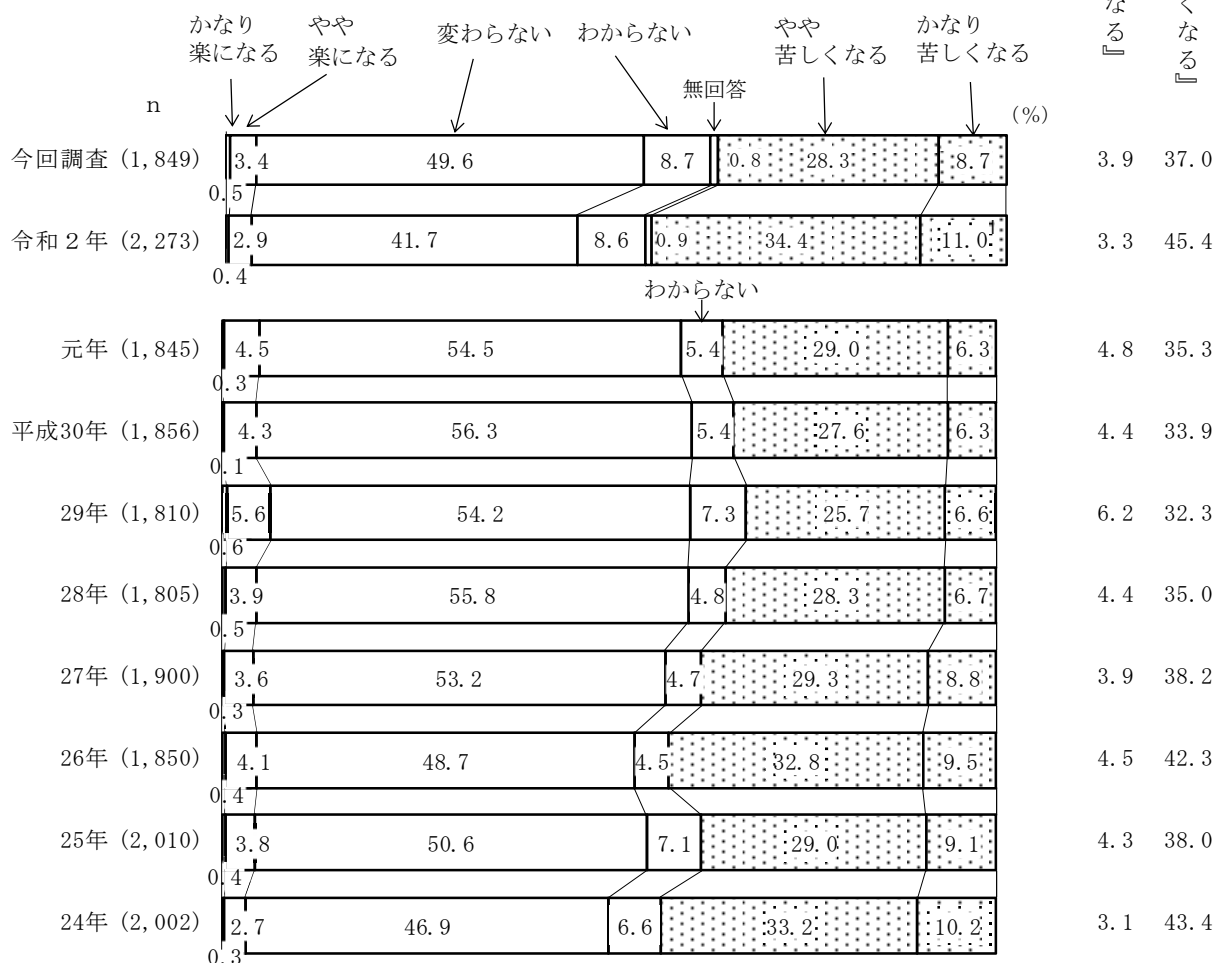
(注)『中』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

(4) これからの暮らしむき：これから1年間の暮らしむきを聞いた。

(本文 P 18～P 22)

- ・『苦しくなる』は37% (昨年より8ポイント減少)
- ・『変わらない』は50% (昨年より8ポイント増加)

『楽になる』
『苦しくなる』

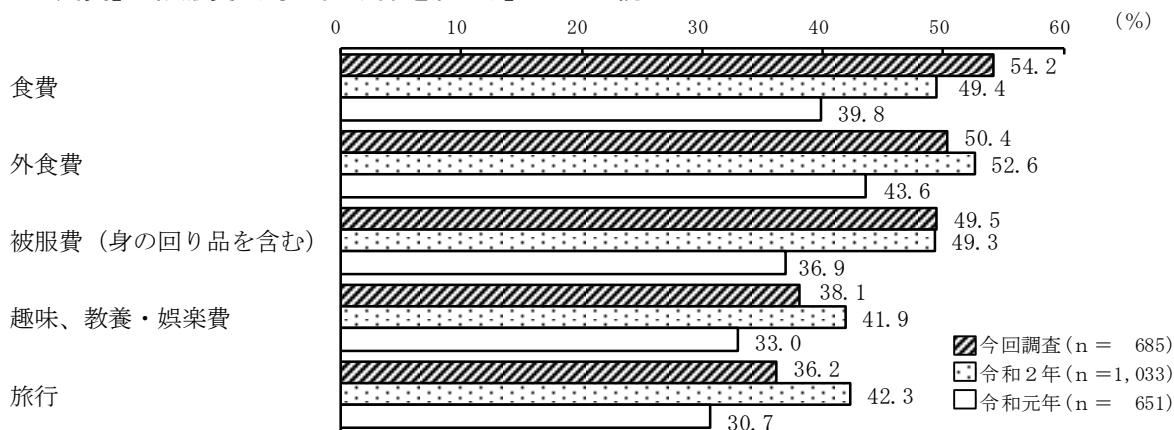


(注) 『楽になる』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(5) 今後切りつけていくもの：これから1年間の暮らしむきが、「やや苦しくなる」「かなり苦しくなる」と答えた人(685人)に、今後切りつけていこうと思うものについて聞いた。(M. A.) (上位5位)

(本文 P 23～P 25)

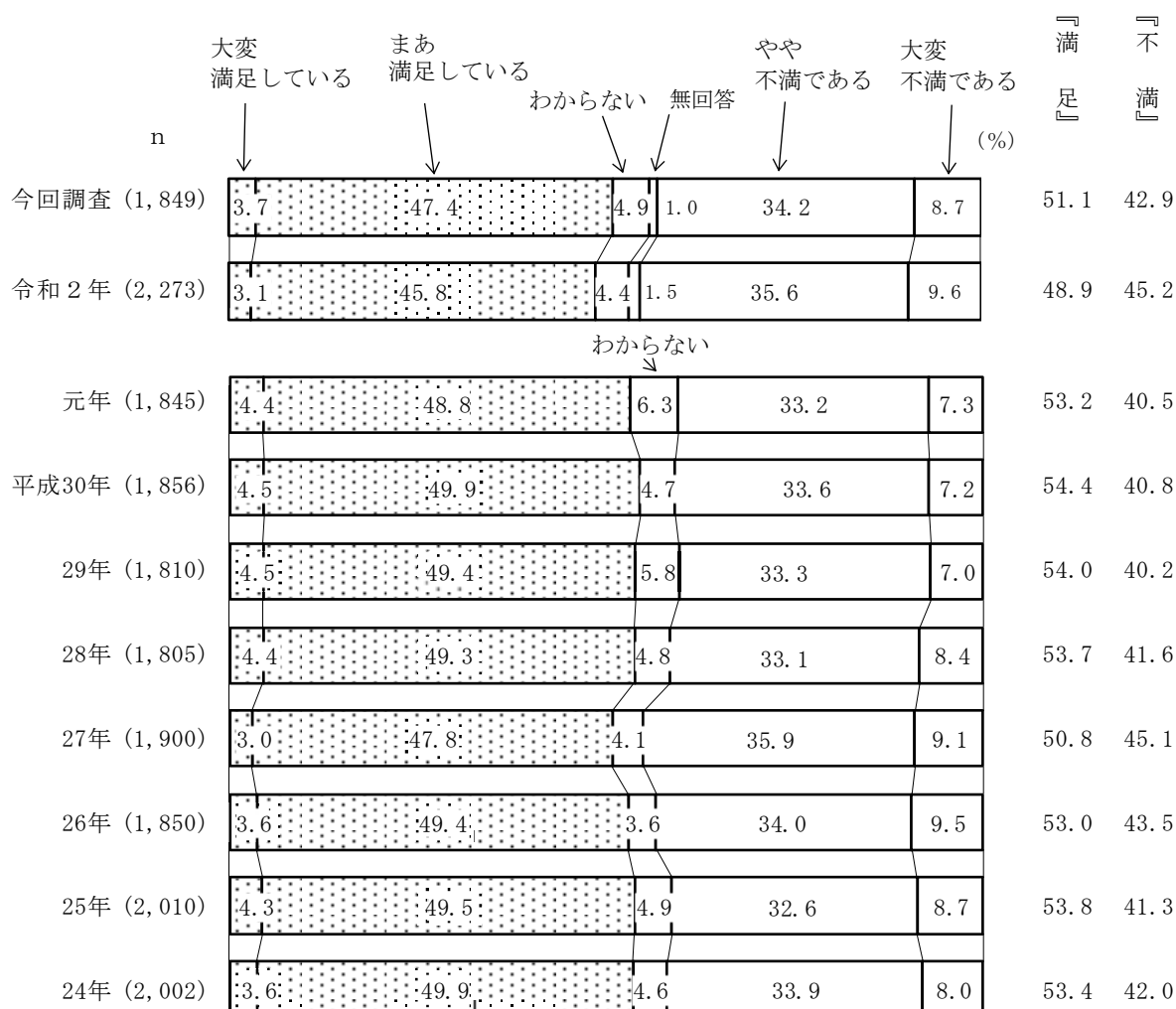
- ・「食費」が54%でトップ (昨年より5ポイント増加)
- ・「外食費」「被服費(身の回り品を含む)」50%が続く



(6) 生活満足度：現在の生活に満足しているかどうか聞いた。

(本文 P 26～P 29)

- ・『満足』は51%（昨年より2ポイント増加）
- ・『不満』は43%（昨年より2ポイント減少）

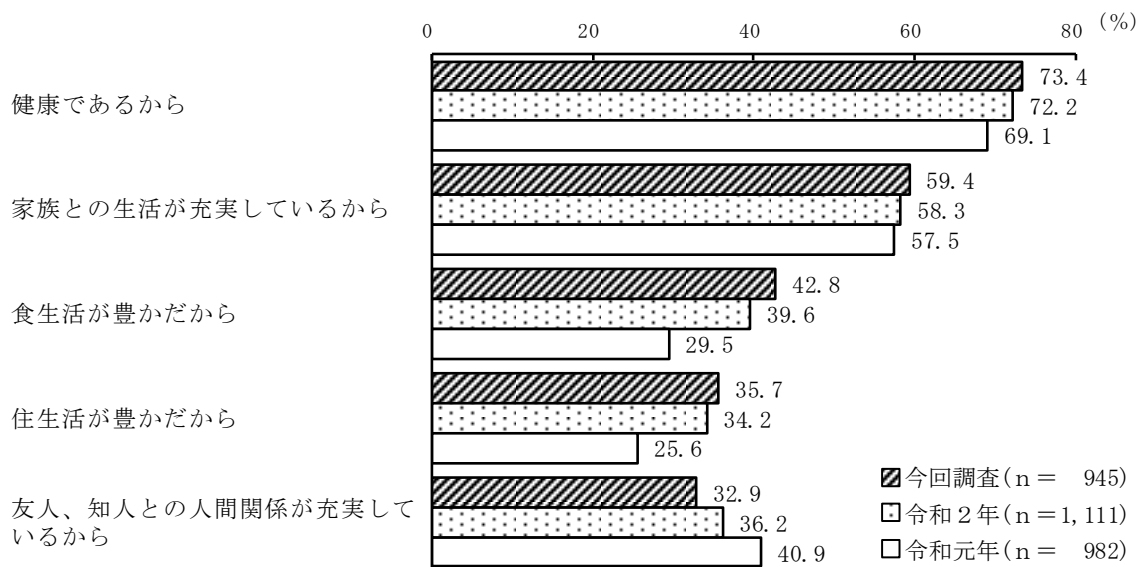


(注) 『満足』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
 『不満』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(7) 満足の理由：現在の生活に「大変満足している」「まあ満足している」と答えた人（945人）に、その理由を聞いた。（M. A.）（上位5位）

（本文 P 30～P 32）

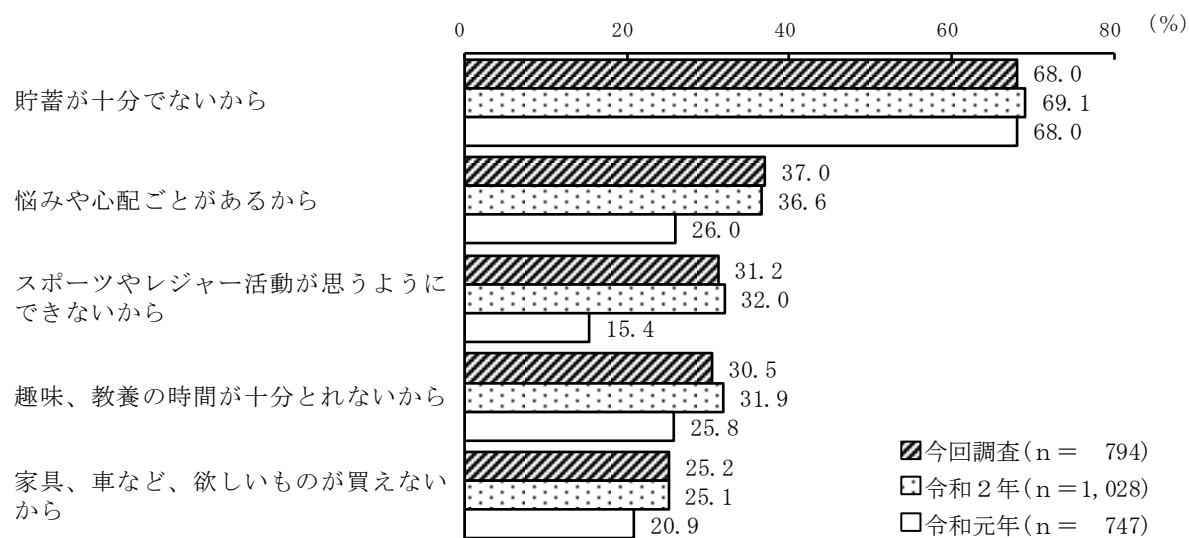
- ・「健康であるから」が73%でトップ
- ・「家族との生活が充実しているから」59%、「食生活が豊かだから」43%が続く



(8) 不満の理由：現在の生活に「やや不満である」「大変不満である」と答えた人（794人）に、その理由を聞いた。（M. A.）（上位5位）

（本文 P 33～P 35）

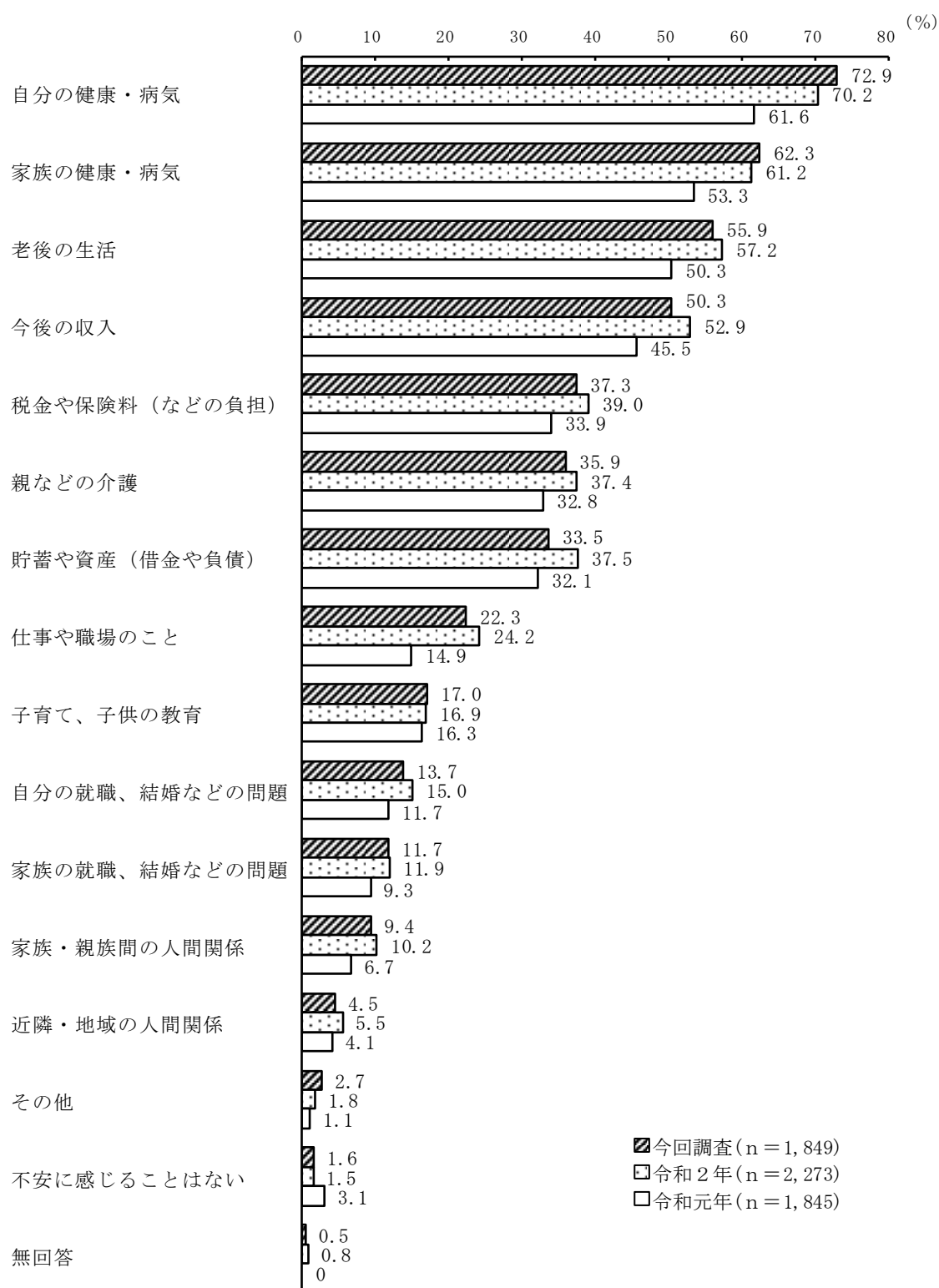
- ・「貯蓄が十分でないから」が68%でトップ
- ・「悩みや心配ごとがあるから」37%、「スポーツやレジャー活動が思うようにできないから」と「趣味、教養の時間が十分とれないから」31%が続く



(9) 今後の生活の不安：今後の生活で不安を感じることを聞いた。(M. A.)

(本文 P 36～P 39)

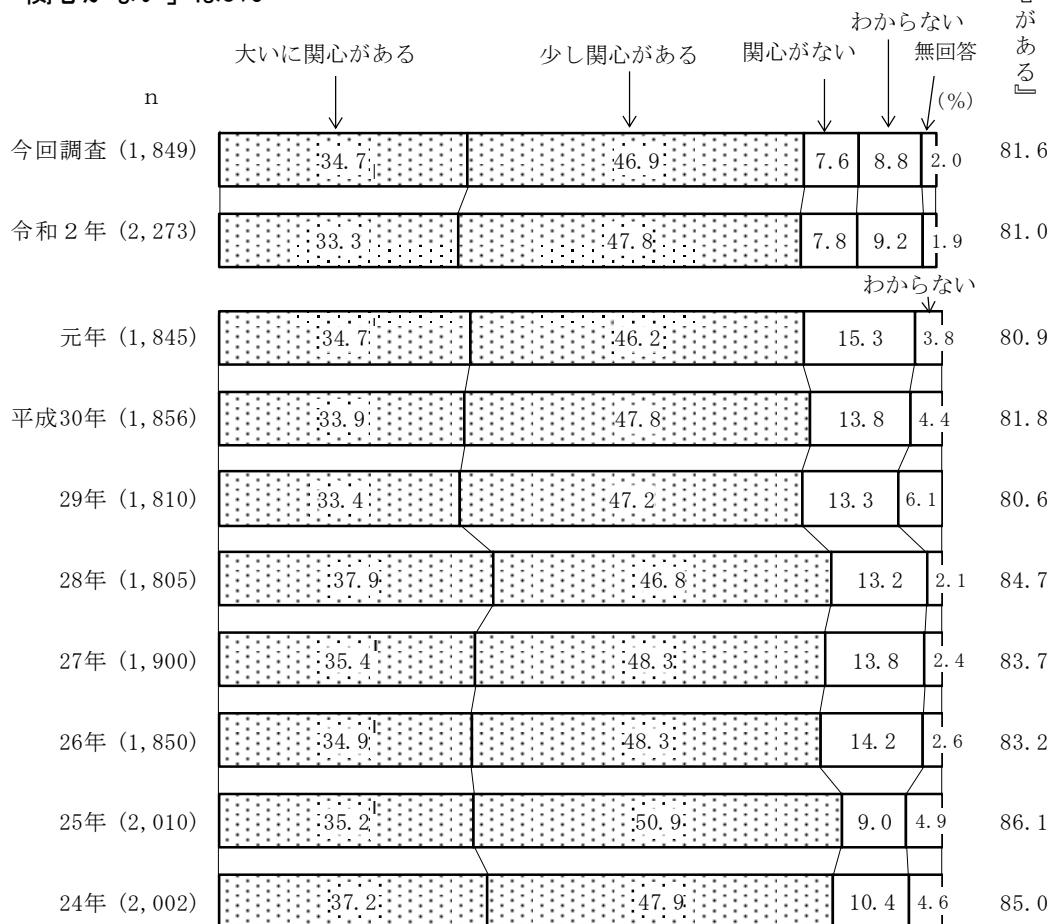
- ・「自分の健康・病気」が73%でトップ（昨年より3ポイント増加）
- ・「家族の健康・病気」62%、「老後の生活」56%、「今後の収入」50%が続く



(10) 税金への関心度とその内容：税金について関心があるかどうか聞いた。

(本文 P 40～ P 45)

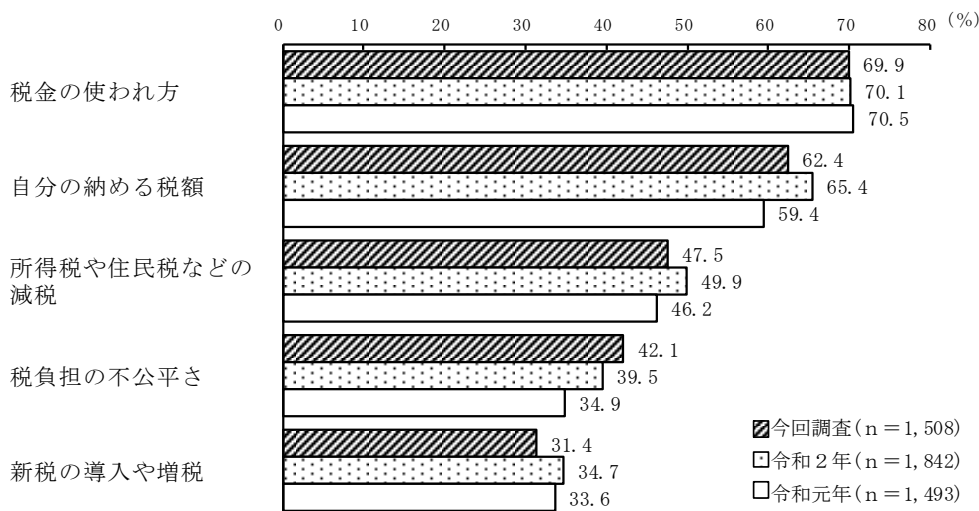
- ・『関心がある』は82%
- ・「関心がない」は8%



(注)『関心がある』は「大いに関心がある」「少し関心がある」の合計

[税金への関心の内容]：「大いに関心がある」「少し関心がある」と答えた人（1,508人）に、その内容を聞いた。（M. A.）（上位5位）

- ・「税金の使われ方」が70%でトップ
- ・「自分の納める税額」62%、「所得税や住民税などの減税」48%が続く

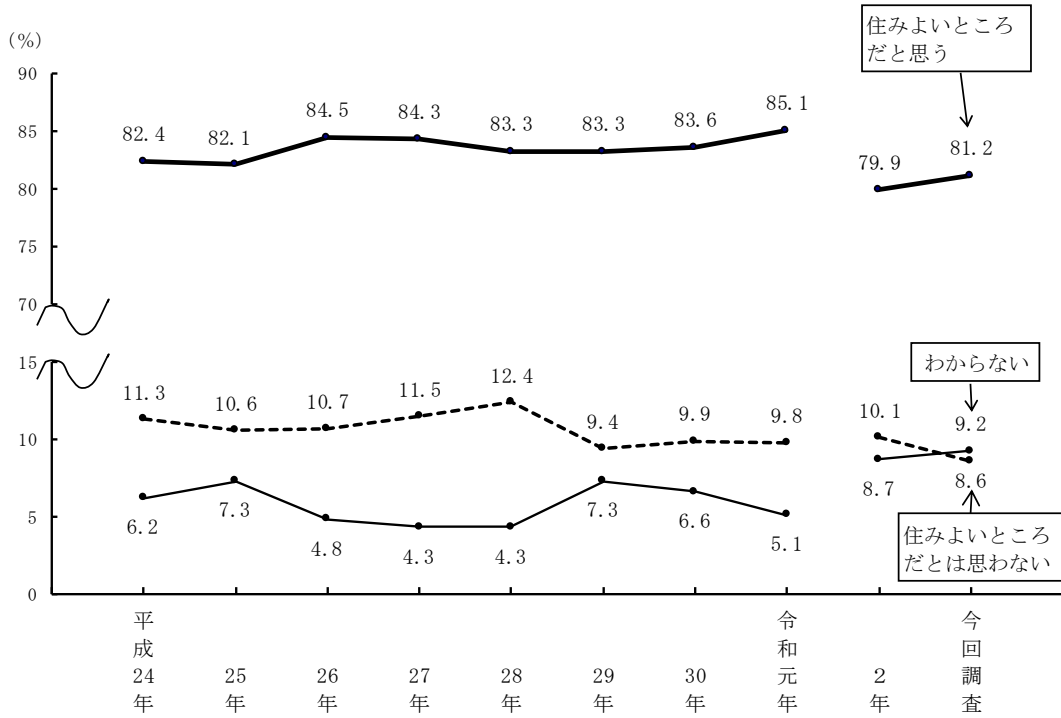


2 住んでいる地域

(1) 地域の住みよさ：今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いた。

(本文 P46～P49)

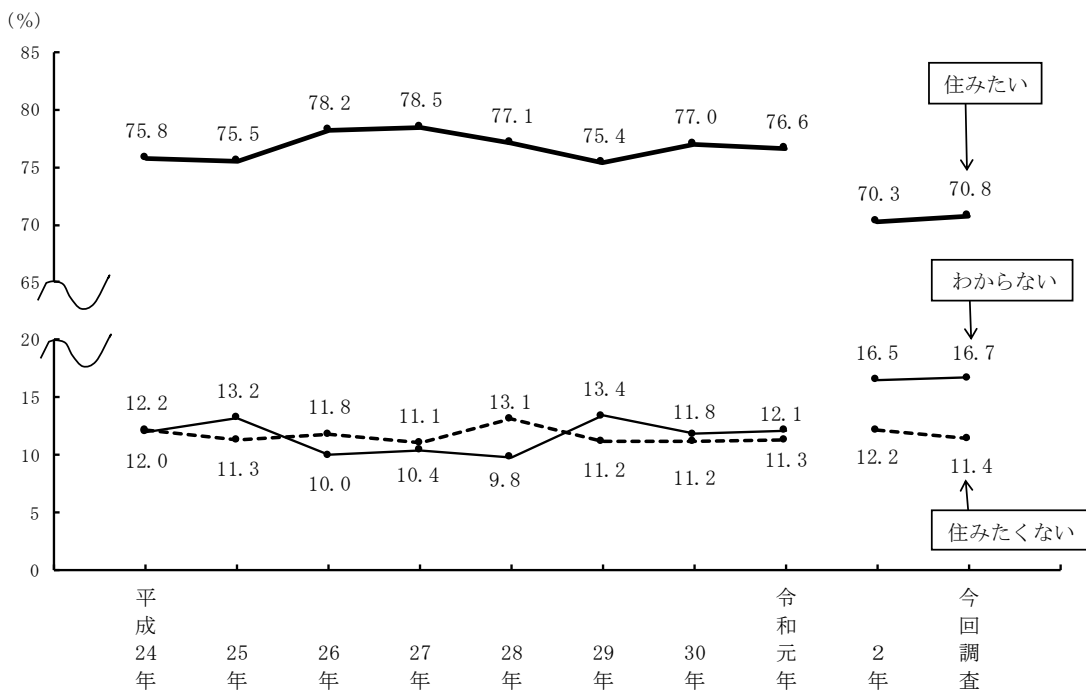
- ・「住みよいところだと思う」は81%
- ・「住みよいところだとは思わない」は9%（昨年より2ポイント減少）



(2) 地域定住意向：今住んでいる地域に今後も住みたいと思うか聞いた。

(本文 P50～P59)

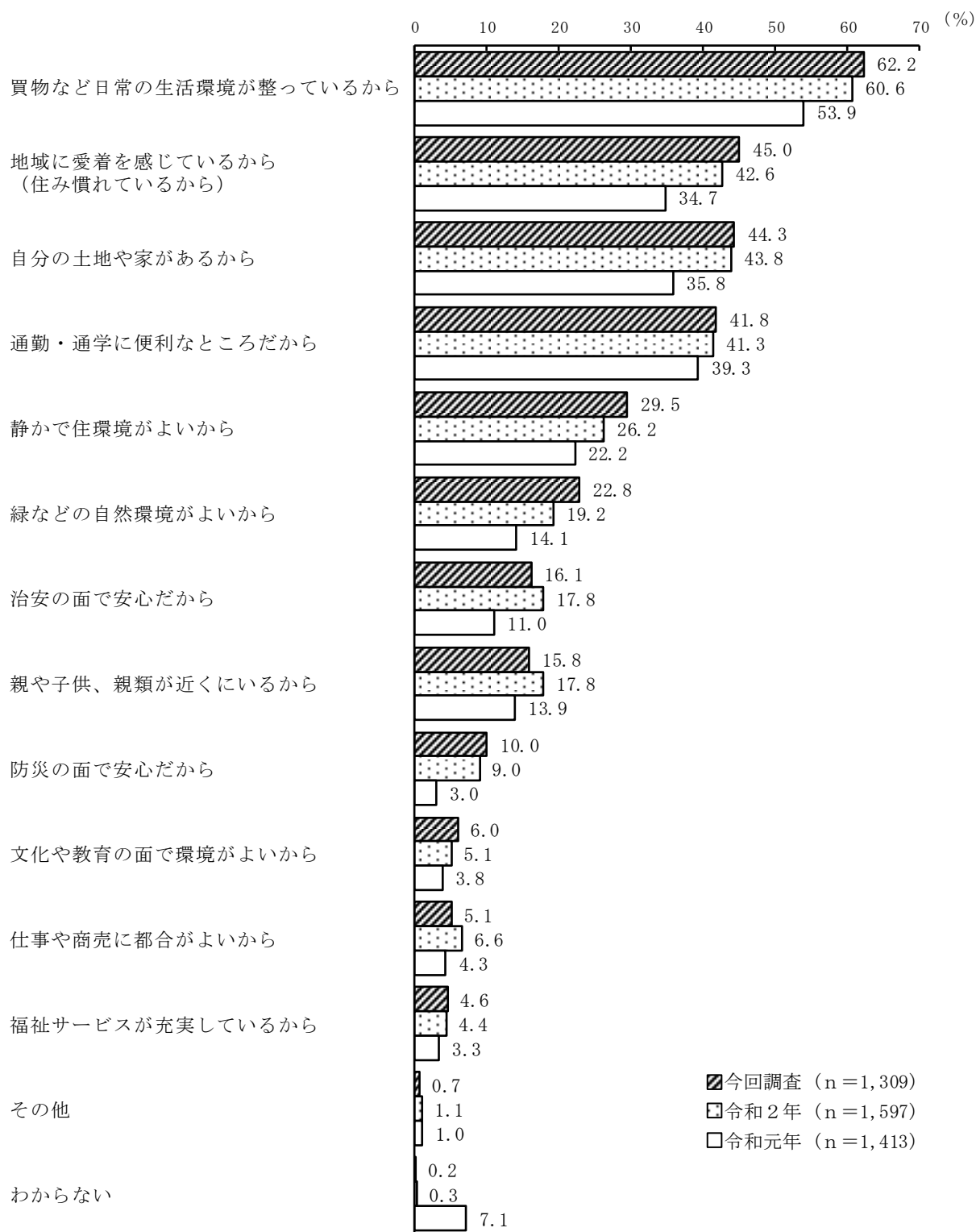
- ・「住みたい」は71%
- ・「住みたくない」は11%



[居住地域に住みたい理由]：「住みたい」と答えた人（1,309人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.)

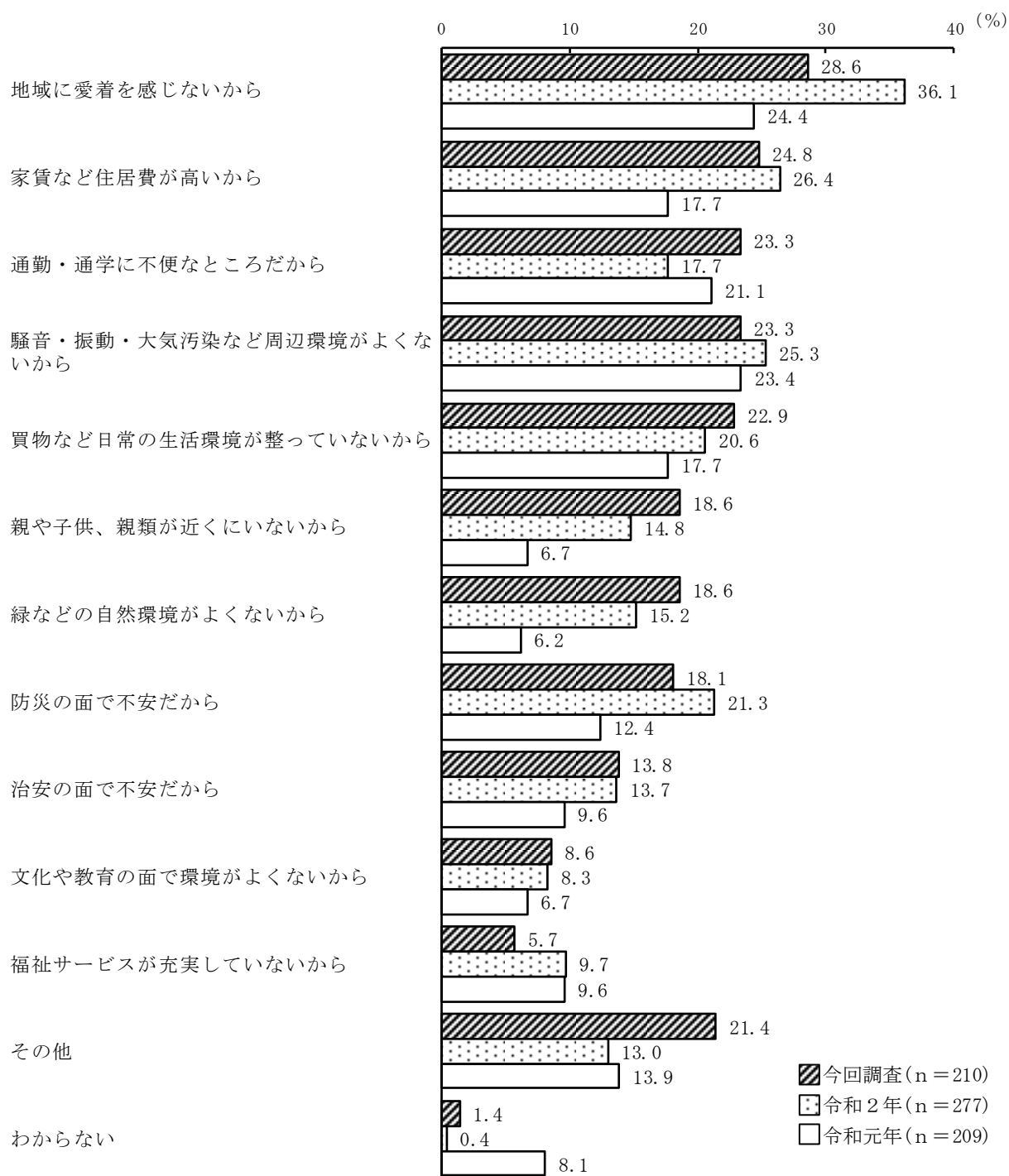
- ・「買物など日常の生活環境が整っているから」が62%でトップ
- ・「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」45%、「自分の土地や家があるから」44%、「通勤・通学に便利なところだから」42%が続く



[居住地域に住みたくない理由]：「住みたくない」と答えた人（210人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.)

- ・「地域に愛着を感じないから」が29%でトップ（昨年より8ポイント減少）
- ・「家賃など住居費が高いから」25%、「通勤・通学に不便なところだから」と「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」23%が続く



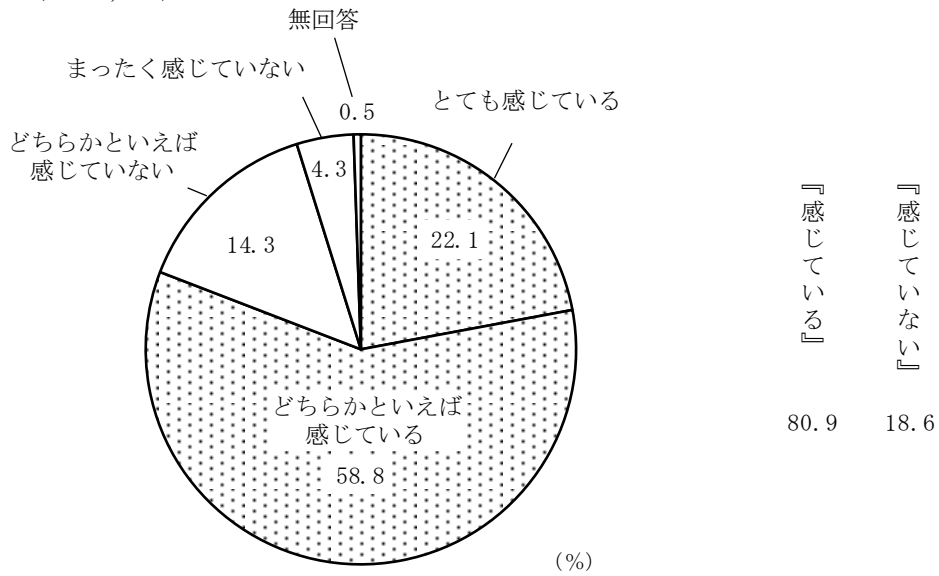
3 東京

(1) 東京への愛着：東京に愛着を感じているか聞いた。

(本文 P60～P62)

- ・『感じている』は81%
- ・『感じていない』は19%

(n = 1,849)



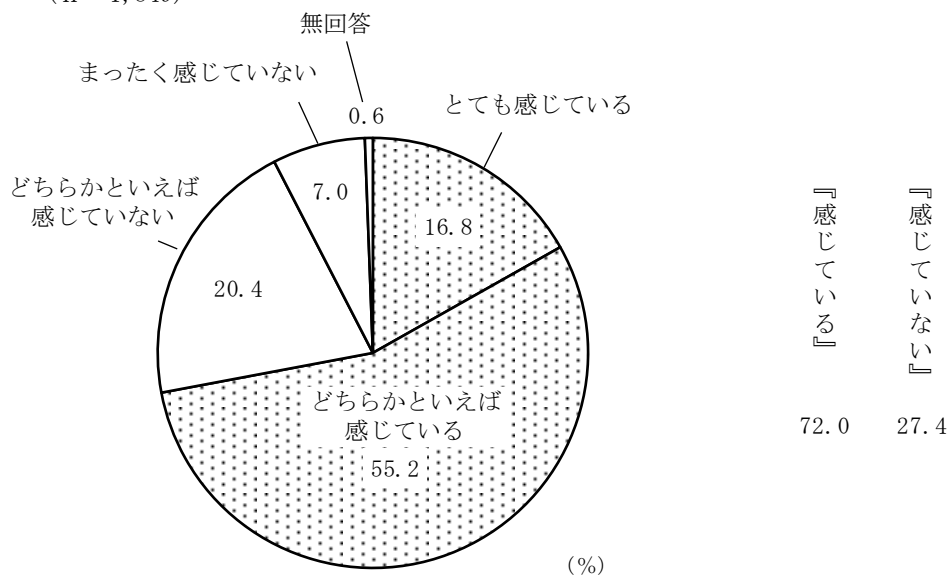
(注) 『感じている』は「とても感じている」「どちらかといえば感じている」の合計
『感じていない』は「まったく感じていない」「どちらかといえば感じていない」の合計

(2) 東京への誇り：東京に誇りを感じているか聞いた。

(本文 P63～P65)

- ・『感じている』は72%
- ・『感じていない』は27%

(n = 1,849)

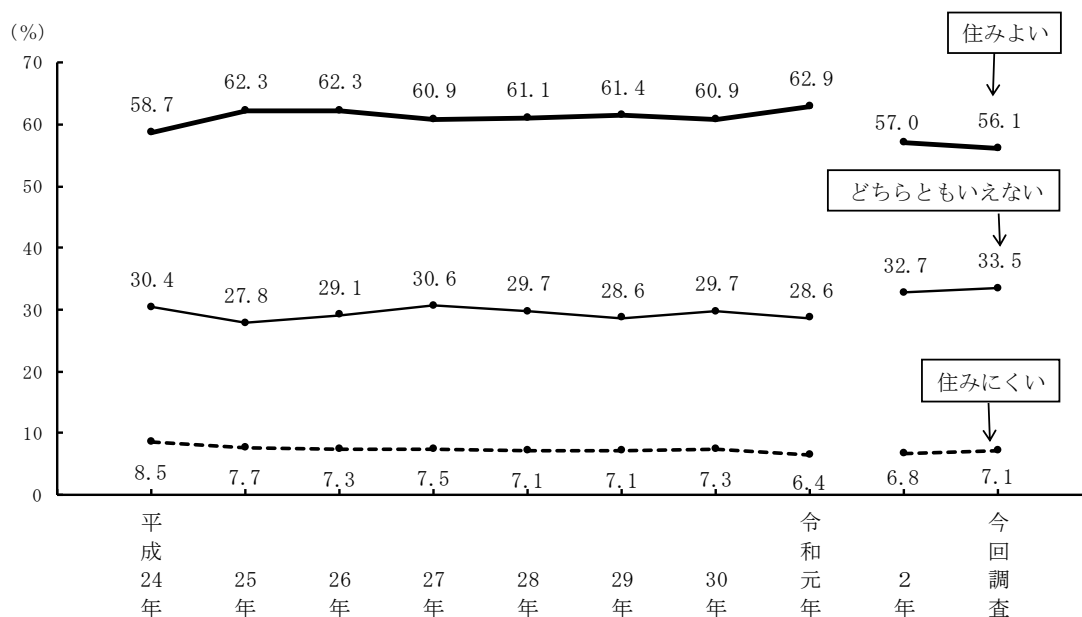


(注) 『感じている』は「とても感じている」「どちらかといえば感じている」の合計
『感じていない』は「まったく感じていない」「どちらかといえば感じていない」の合計

(3) 東京の住みよさ：東京は全般的にみて住みよいところだと思うか聞いた。

(本文 P66～P71)

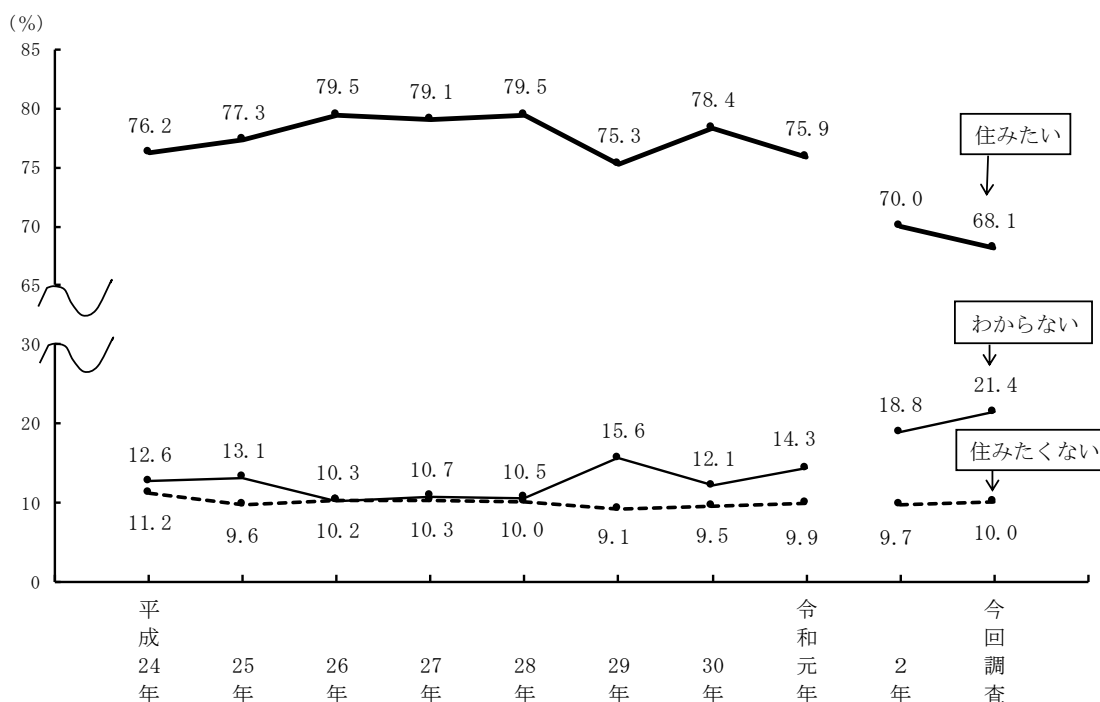
- ・「住みよい」は56%
- ・「住みにくい」は7%



(4) 東京定住意向：東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いた。

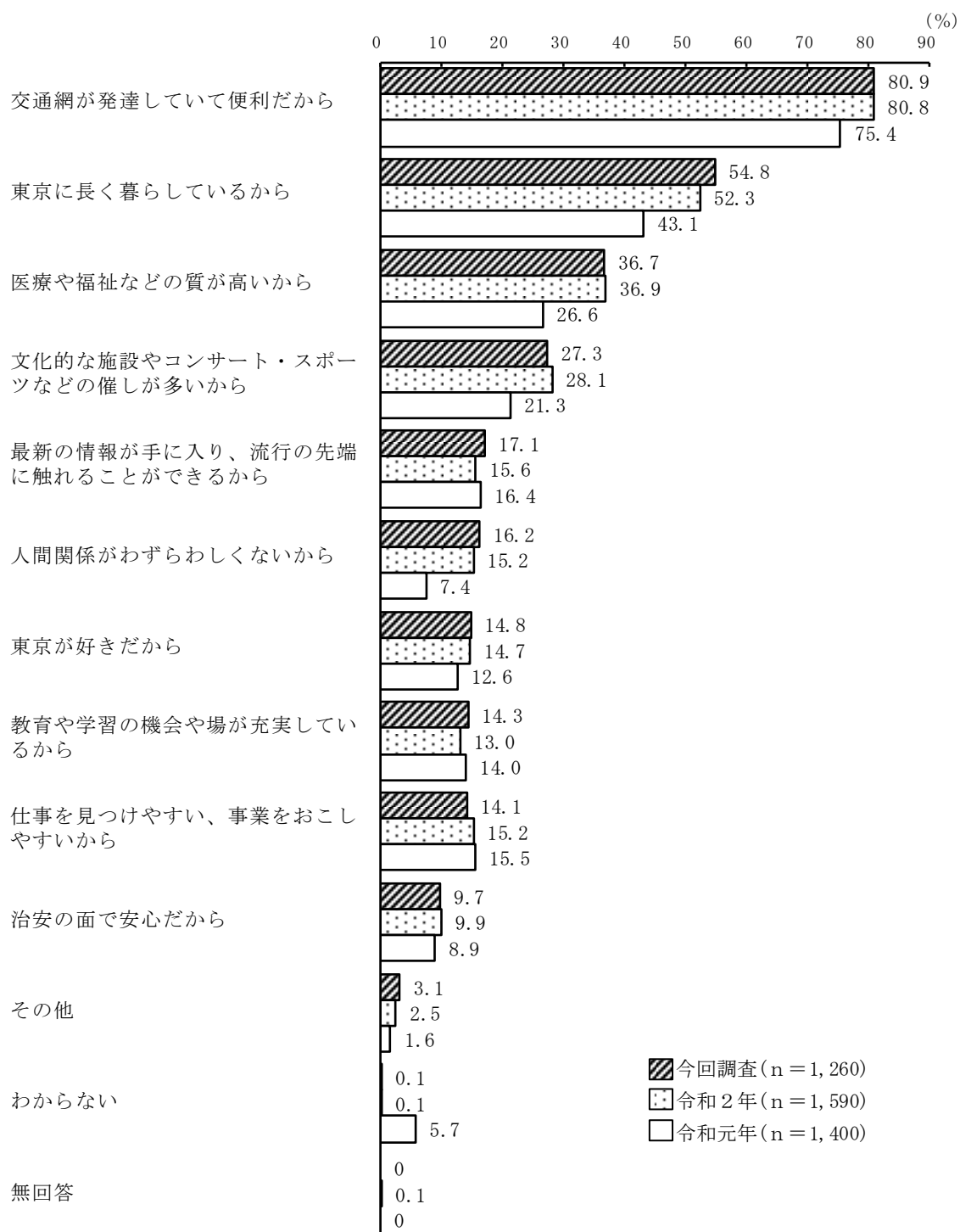
(本文 P72～P84)

- ・「住みたい」は68% (昨年より2ポイント減少)
- ・「住みたくない」は10%



[東京に住みたい理由]：「住みたい」と答えた人（1,260人）に、その理由を聞いた。（3M. A.）

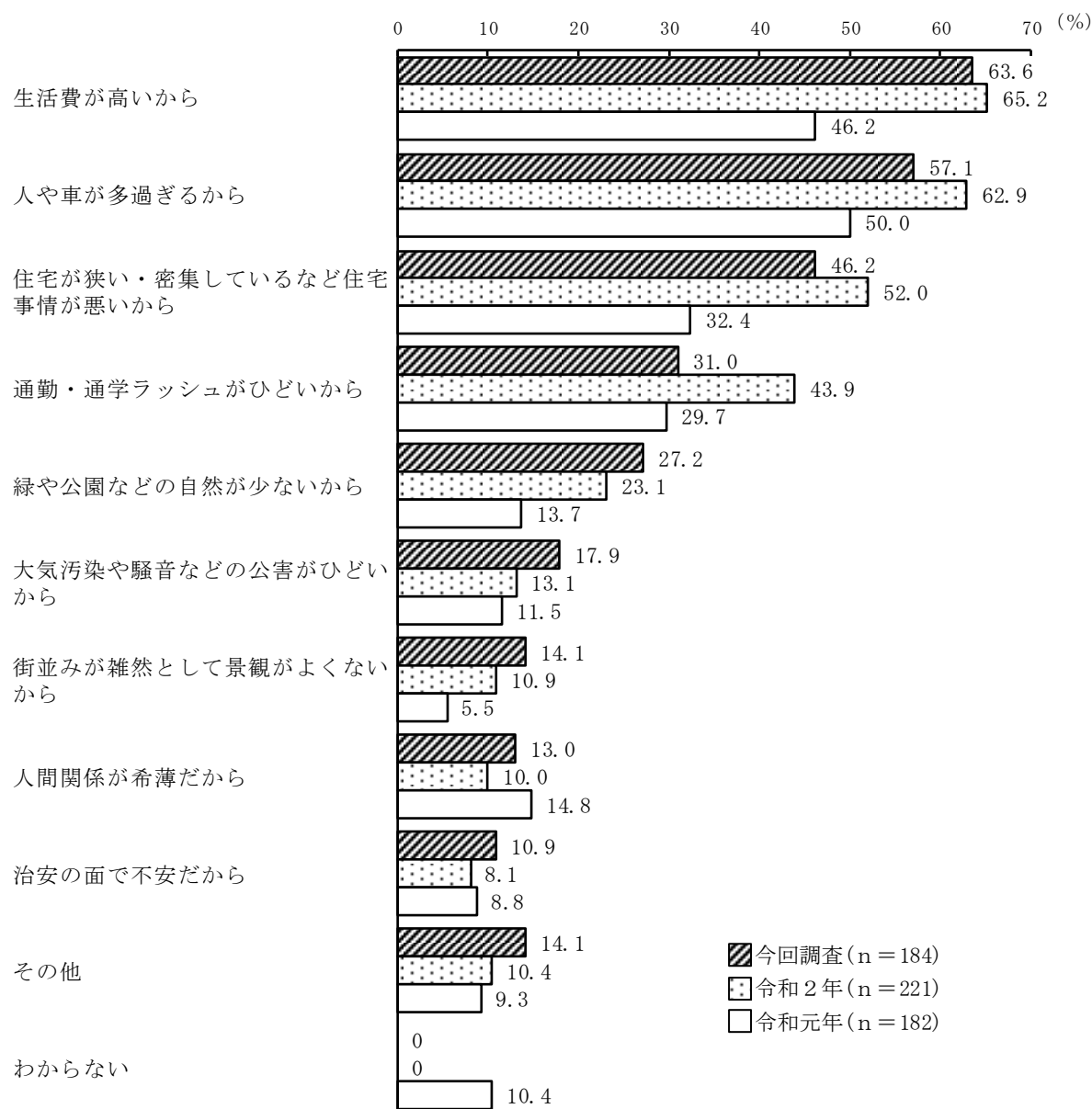
- ・「交通網が発達していて便利だから」が81%でトップ
- ・「東京に長く暮らしているから」55%、「医療や福祉などの質が高いから」37%が続く



[東京に住みたくない理由]：「住みたくない」と答えた人（184人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.)

- ・「生活費が高いから」が64%でトップ
- ・「人や車が多過ぎるから」57%、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」46%が続く

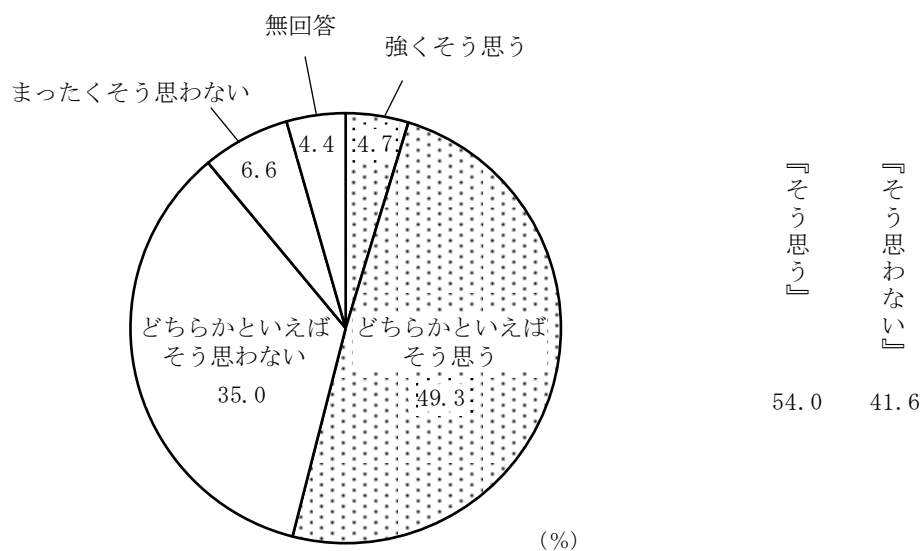


(5) 東京をよりよくするために関わっていききたいか：東京をよりよくするために自ら関わっていき
たいか聞いた。

(本文 P 85～P 87)

- ・『そう思う』は54%
- ・『そう思わない』は42%

(n = 1, 849)



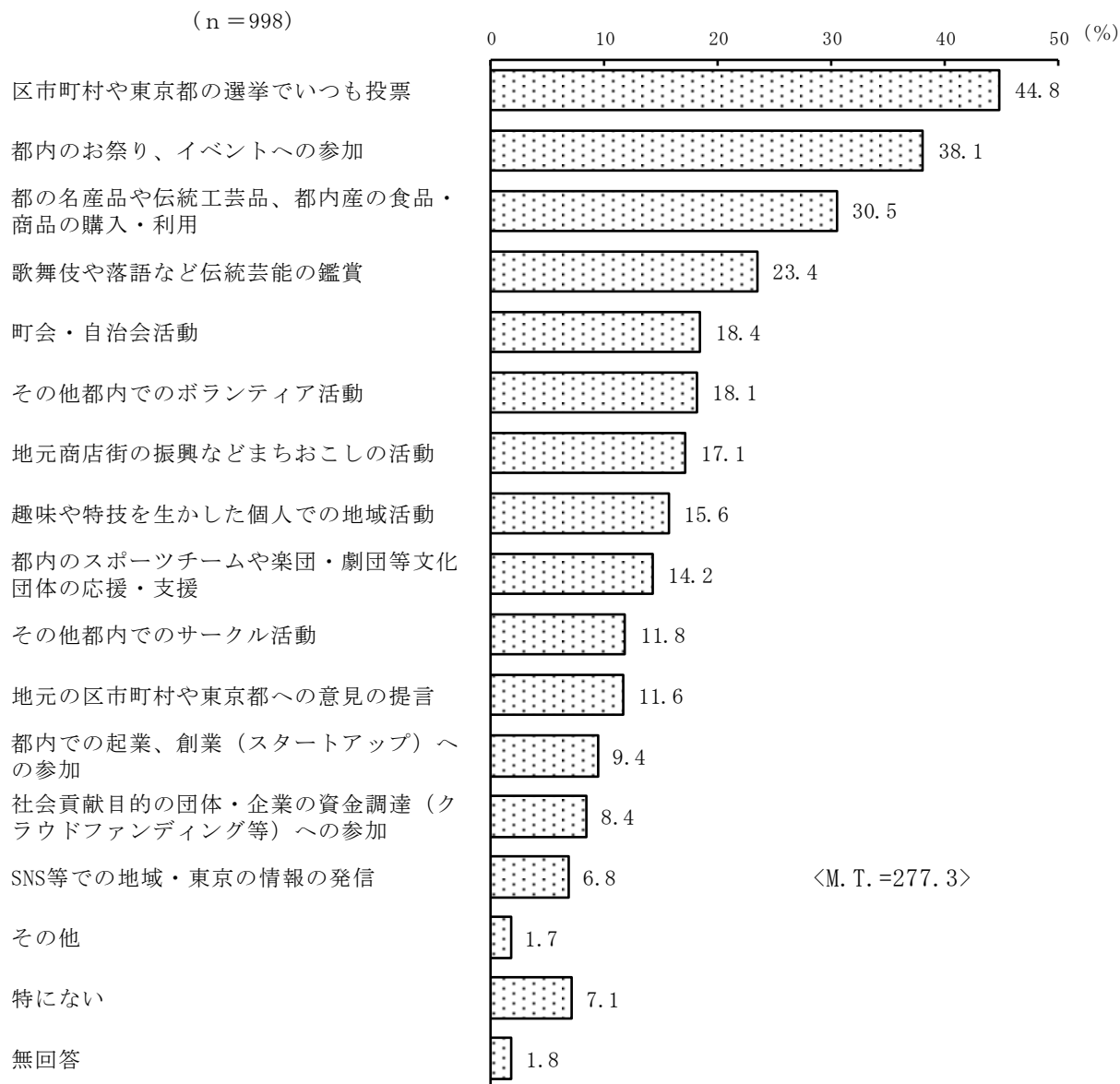
(注) 『そう思う』は「強くそう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計

『そう思わない』は「まったくそう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計

(6) 関わっていききたいこと (希望) : 東京をよりよくするために関わっていききたいかに、「強く思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人 (998人) に、今後関わっていききたいこと (今まで関わってきたことで続けたいものも含む。) を聞いた。(M. A.)

(本文 P88～P89)

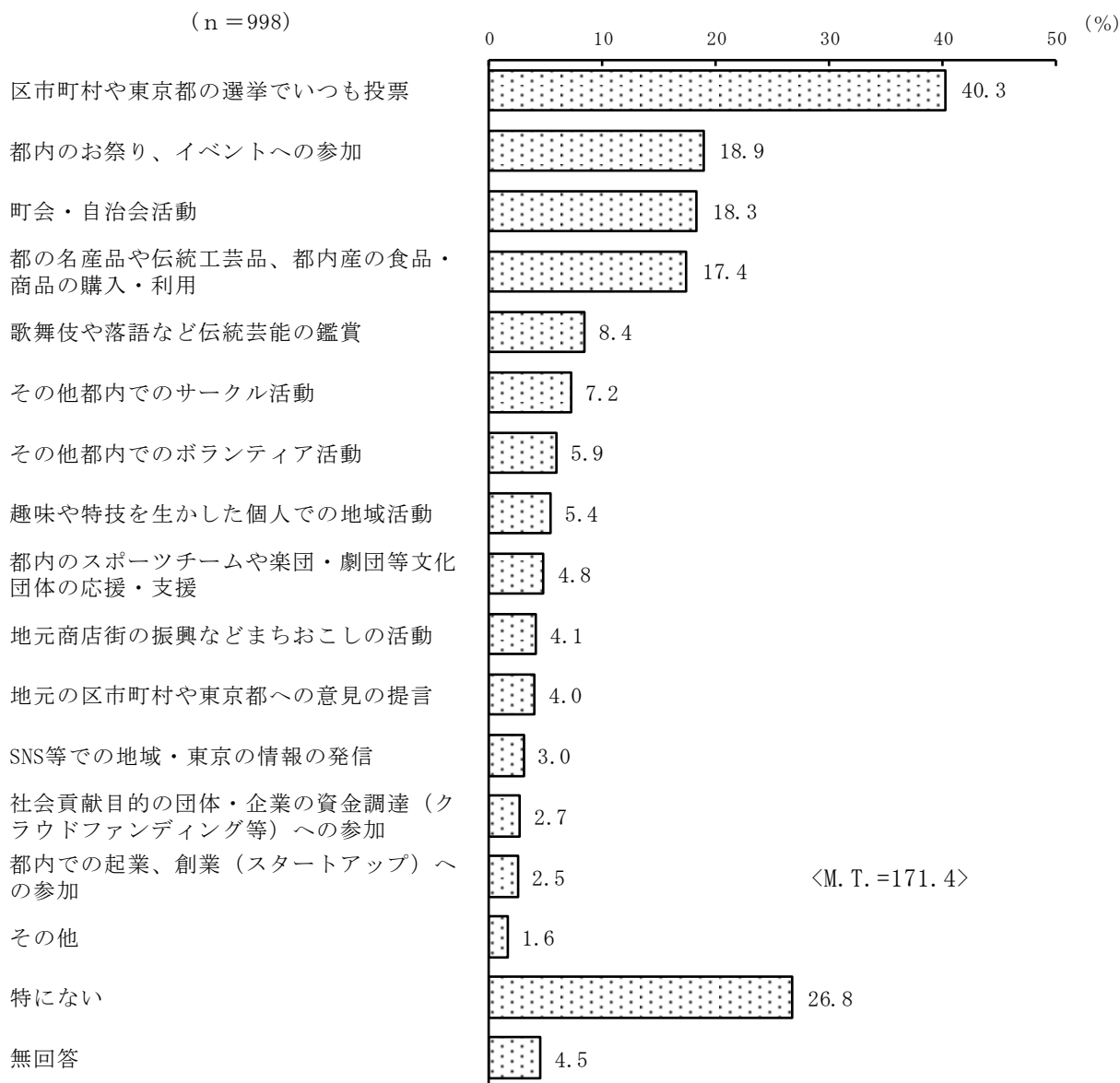
- ・「区市町村や東京都の選挙でいつも投票」が45%でトップ
- ・「都内のお祭り、イベントへの参加」38%、「都の名産品や伝統工芸品、都内産の食品・商品の購入・利用」31%が続く



(7) いま関わっていること（現状）：東京をよりよくするために関わっていきたいかに、「強く思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人（998人）に、いま関わっていることを聞いた。（M. A.）

（本文 P90～P91）

- ・「区市町村や東京都の選挙でいつも投票」が40%でトップ
- ・「都内のお祭り、イベントへの参加」19%、「町会・自治会活動」18%が続く
- ・「特にない」27%

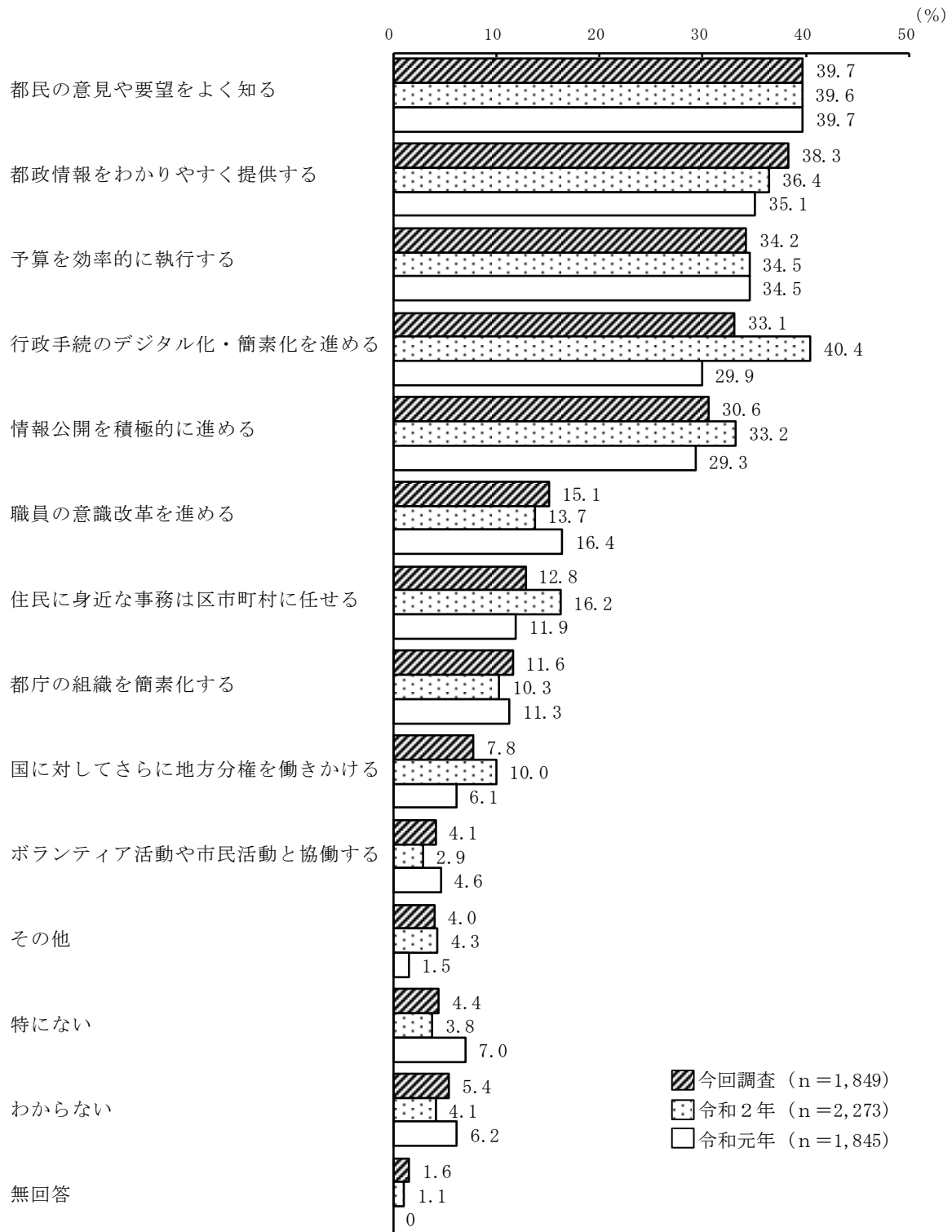


4 都政への要望

(1) これからの都政の進め方：これからの都政の進め方に対して、特に望むことを聞いた。

(3M. A.) (本文P92～P94)

- ・「都民の意見や要望をよく知る」が40%でトップ
- ・「都政情報をわかりやすく提供する」38%、「予算を効率的に執行する」34%、「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」33%が続く

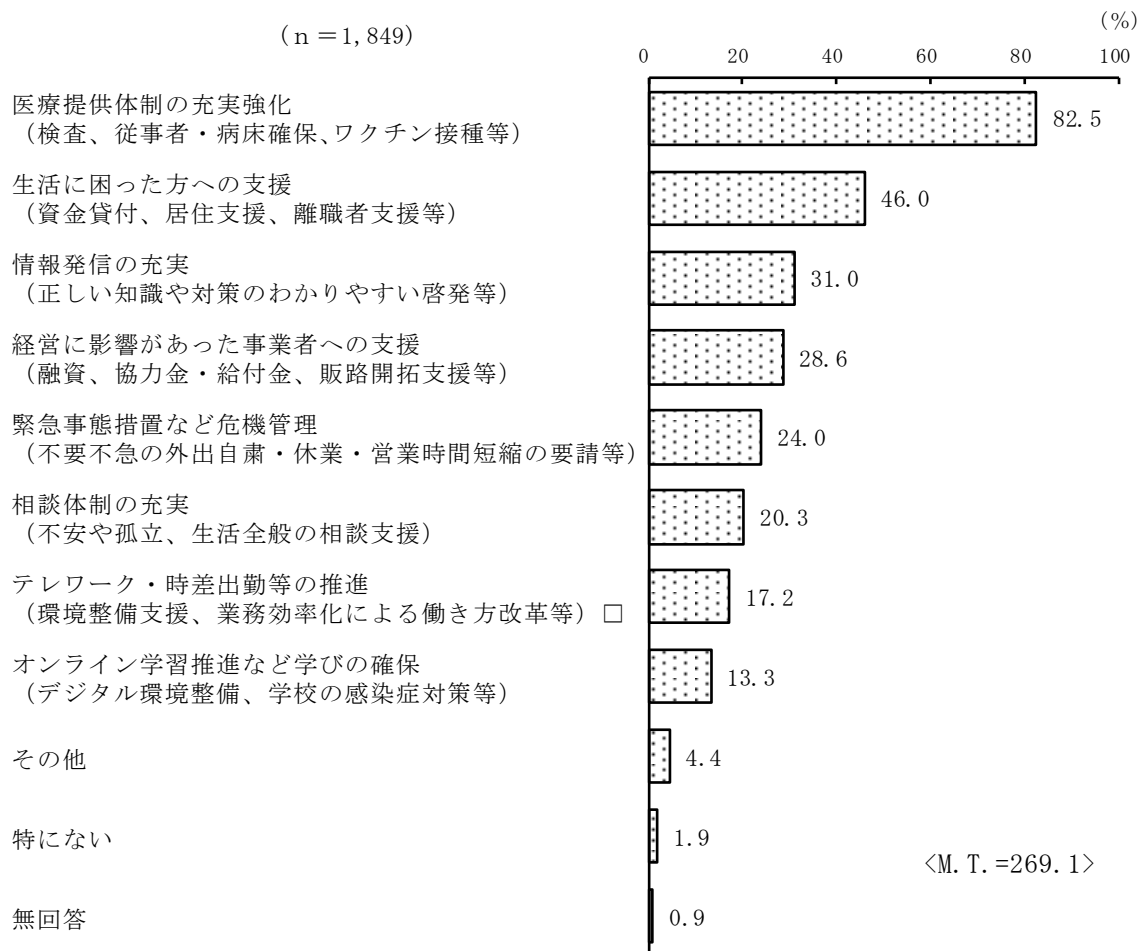


(注) 「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」は令和2年までは「事務手続きを簡素化する」

(2) 新型コロナウイルス感染症対策：東京都に特に望む対策について聞いた。(3M. A.)

(本文 P95～P98)

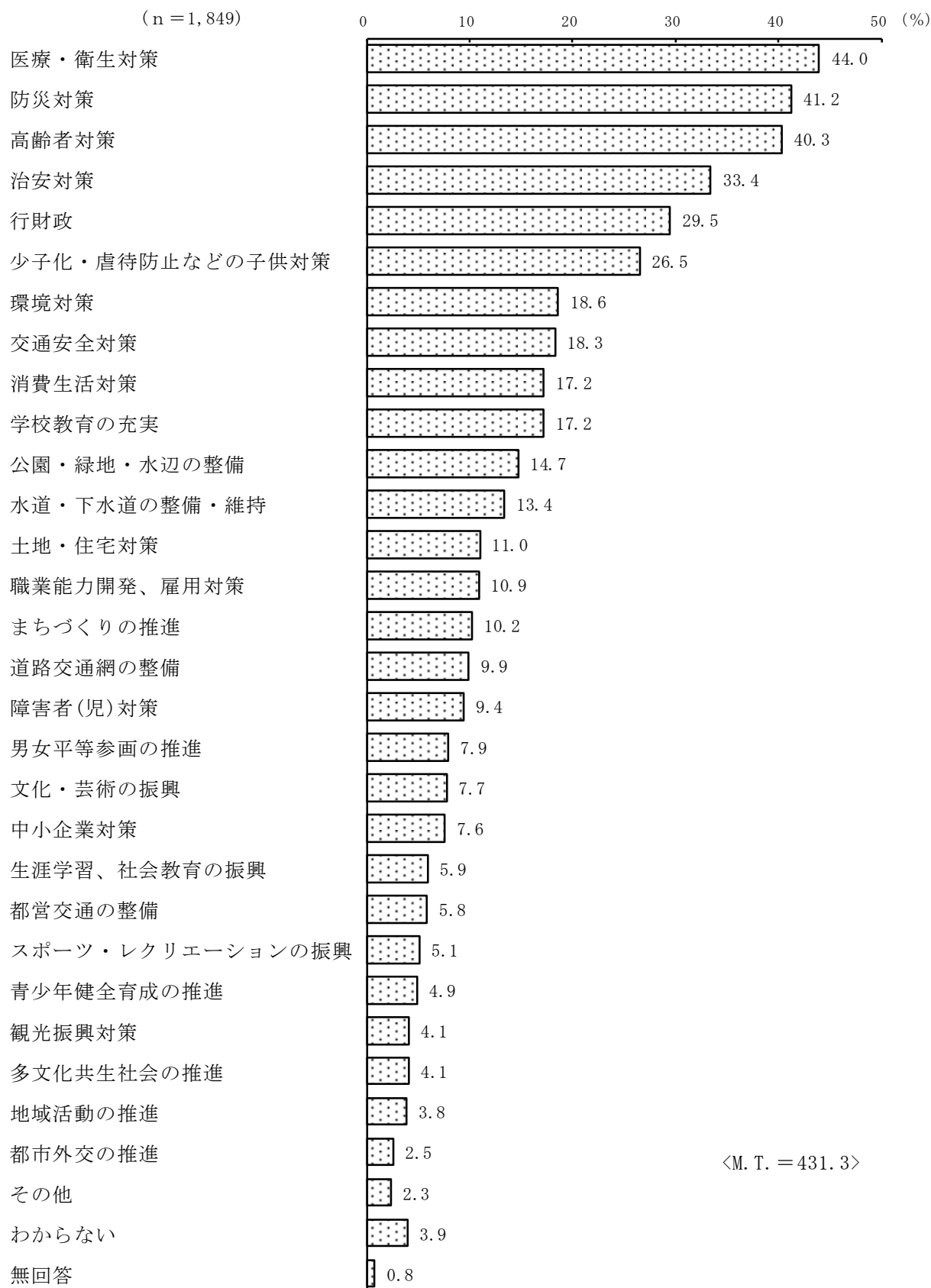
- ・「医療提供体制の充実強化」が83%でトップ
- ・「生活に困った方への支援」46%、「情報発信の充実」31%、「経営に影響があった事業者への支援」29%が続く



(3) 都政への要望：東京都に対して特に力を入れてほしい施策を聞いた。(5M. A.)

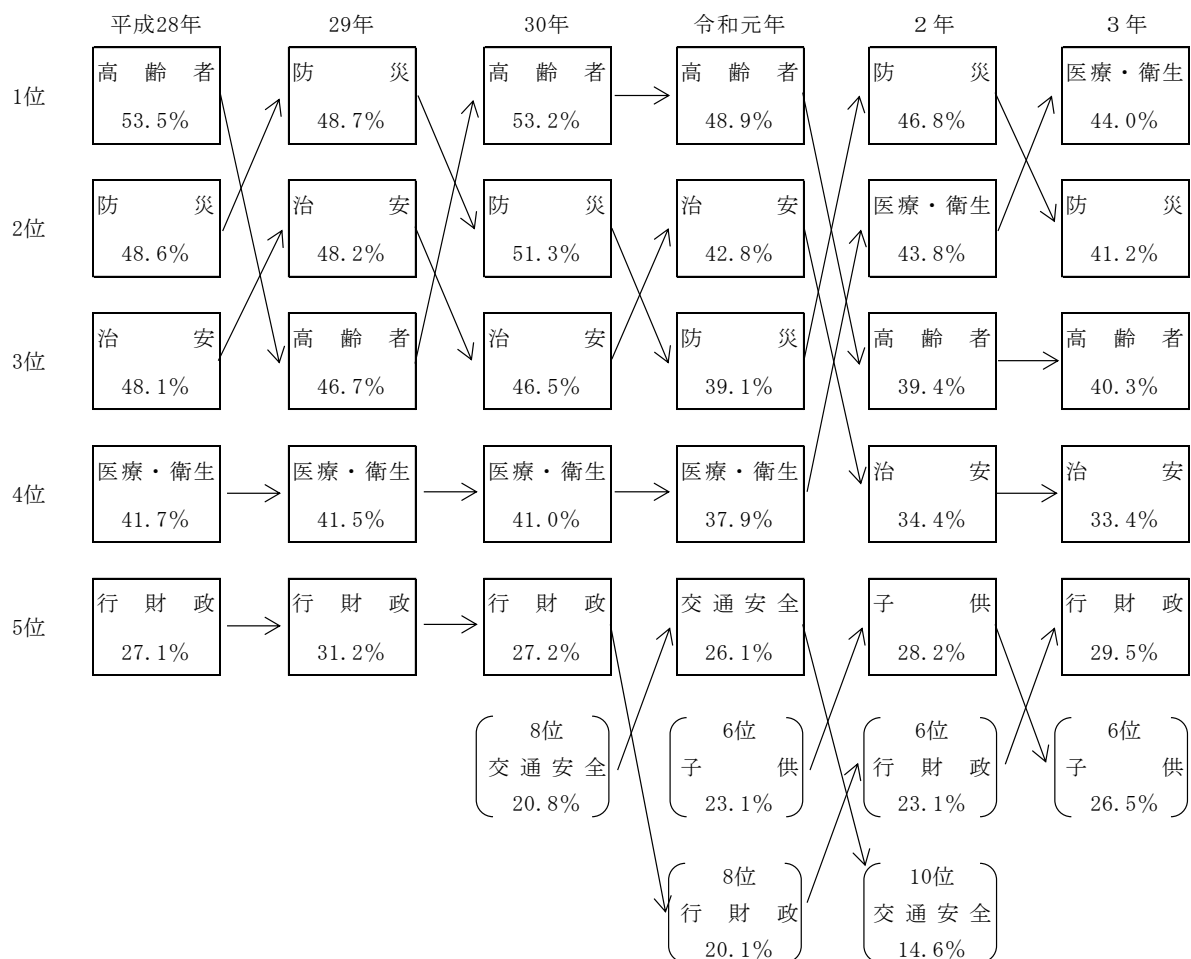
(本文 P99～P102)

- ・「医療・衛生対策」が44%でトップ
- ・「防災対策」41%、「高齢者対策」40%、「治安対策」33%、「行財政」30%が続く



[上位5位の推移]

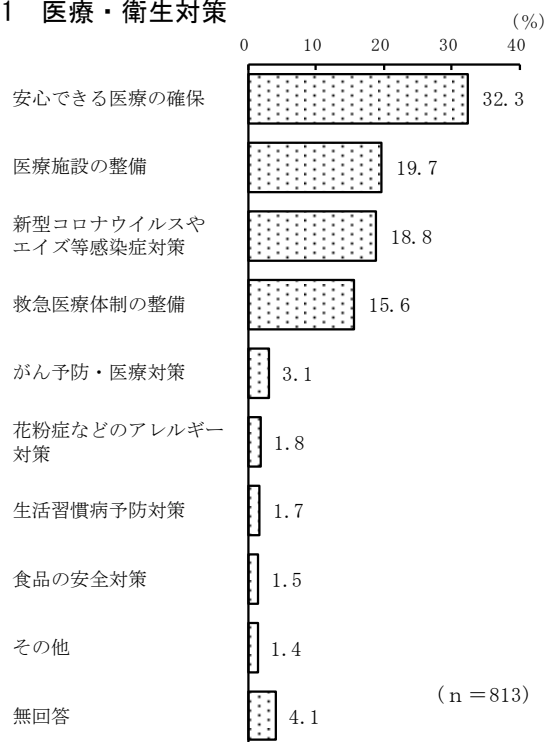
- ・「医療・衛生対策」は昨年（平成29年）の第2位から第1位
- ・「防災対策」は昨年より6ポイント減少し、第2位
- ・「行財政」は昨年より6ポイント増加し、第5位



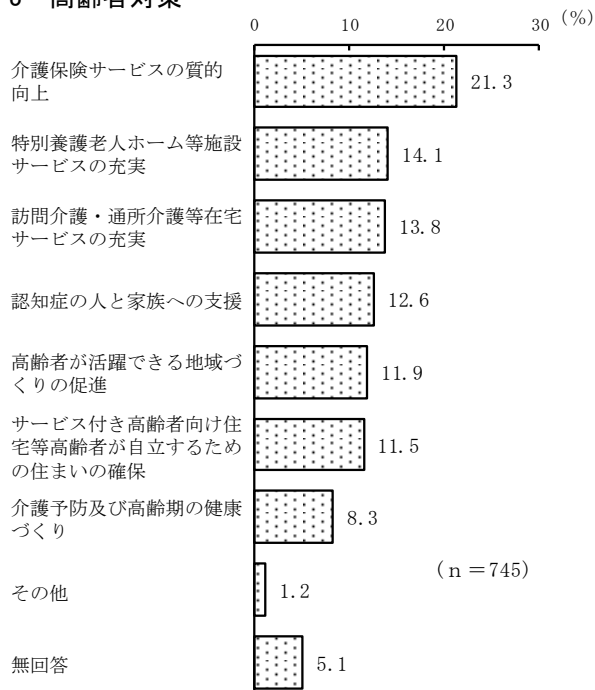
(注)「子供」：「少子化・虐待防止などの子供対策」

(4) 具体的な要望施策：力を入れてほしい分野について、具体的な内容を示して聞いた。(上位5位)
(本文P103～P108)

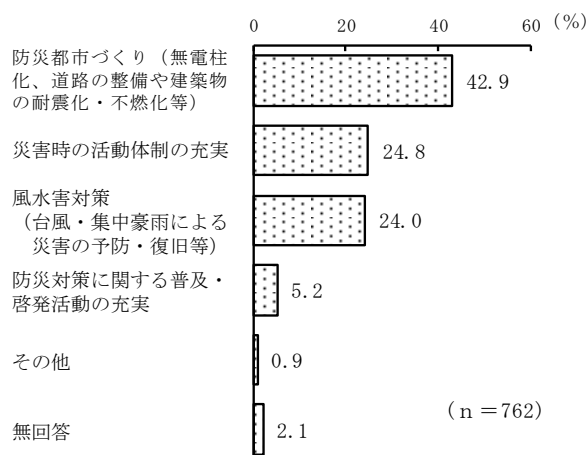
1 医療・衛生対策



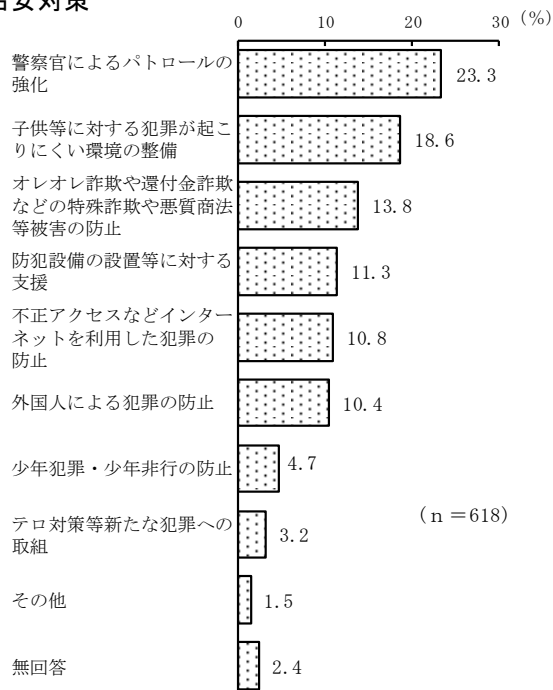
3 高齢者対策



2 防災対策



4 治安対策



5 行財政

